

2024年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2024年3月15日

上場会社名 株式会社ツクルバ 上場取引所 東
 コード番号 2978 URL https://tsukuruba.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 村上浩輝
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO (氏名) 門間賢都 (TEL) 03-4400-2946
 四半期報告書提出予定日 2024年3月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年7月期第2四半期の連結業績(2023年8月1日~2024年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年7月期第2四半期	2,045	—	37	—	23	—	123	—
2023年7月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2024年7月期第2四半期 123百万円(—%) 2023年7月期第2四半期 一百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年7月期第2四半期	10.59	10.50
2023年7月期第2四半期	—	—

(注) 2024年7月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2023年7月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年7月期第2四半期	3,474	1,685	44.9
2023年7月期	—	—	—

(参考) 自己資本 2024年7月期第2四半期 1,560百万円 2023年7月期 一百万円

(注) 2024年7月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2023年7月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年7月期	—	0.00	—	—	—
2024年7月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2024年7月期の連結業績予想(2023年8月1日~2024年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,200	—	150	—	130	—	175	—	15.46

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

詳細は、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 2024年7月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前年増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(社名) 株式会社ツクルボックス、除外 1社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年7月期2Q	11,666,400株	2023年7月期	11,569,500株
2024年7月期2Q	335,709株	2023年7月期	335,709株
2024年7月期2Q	11,313,938株	2023年7月期2Q	11,133,501株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用等にあたっての注意事項については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明会について)

当社は、2024年3月15日(金)に機関投資家及びアナリスト向けに決算説明会を開催する予定です。この説明会で利用する決算補足説明資料はTDnetで本日開示するとともに、当社のウェブサイトにも掲載しております。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種種類株式	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年7月期	—	0.00	—	7,095.90	7,095.90
2024年7月期	—	0.00			
2024年7月期(予想)			—	10,000.00	10,000.00

(注) 当社は2022年11月15日を払込期日として、A種種類株式を700株発行しており、2023年7月期の年間配当は1株当たり10,000円を日割り換算しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度末との比較分析は行っていません。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間においては、企業収益を中心として景気が緩やかに回復しました。景気の先行きとしては、雇用・所得環境が改善する中で、各種政策の効果もあり、緩やかな回復の継続が期待されます。他方、世界的な金融引き締めや中国経済の先行き懸念など、海外経済の下振れが景気を下押しするリスクもあり、物価上昇、中東情勢や金融資本市場の変動などと併せて注視していく必要があります。また、令和6年能登半島地震の影響にも十分留意する必要があります。

当社グループがターゲットとする中古マンション市場においては、景気の緩やかな回復も後押しし、2024年1月度の首都圏中古マンションの成約件数は2,711件（前年同月比5.0%増）と、2023年6月以降8カ月連続で前年同月を上回りました。同月の成約㎡単価は75.98万円（同11.2%増）と45カ月連続、成約価格は4,860万円（同13.7%増）と44カ月連続でそれぞれ前年同月を上回って推移しています。また、首都圏中古マンションの在庫件数は新型コロナウイルス感染症の影響で底打ちした2021年6月（33,641件）以降復調傾向にあり、2024年1月は47,449件と、24カ月連続で前年同月を上回っています。

このような経済環境のもと、当社グループは、主力事業であるcowcamo（カウカモ）事業において、営業活動やマーケティング活動などにおける生産性向上に最注力し、サービス改善や組織体制の強化を通じた事業規模の拡大を推進してまいりました。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,045,182千円、営業利益は37,044千円、経常利益は23,436千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は123,318千円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりです。

① cowcamo（カウカモ）事業

当セグメントにおいては、主に中古・リノベーション住宅のオンライン流通プラットフォームcowcamoの運営を通じて、中古・リノベーション住宅の仲介を行っております。当事業に係る外部環境は、新築マンション価格の高止まりを受けた中古マンション流通の拡大及びリノベーションに対する顧客認知の高まりにより、継続的な拡大基調にあります。

このような環境のもと、事業のさらなる成長に向け、プロダクトおよびサービスの改善やデジタルマーケティングを中心とした広告活動、物件案内を行う営業人員の採用・教育、業務システムの開発などに取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,958,230千円、セグメント利益は424,274千円となりました。

② 不動産企画デザイン事業

当セグメントにおいては、主にオフィス設計を中心とした設計・空間プロデュースの受託事業及びコワーキングスペース・ワークプレイスレンタルサービスの運営事業から構成されております。

当社は、2023年11月1日付で、不動産企画デザイン事業を会社分割（簡易新設分割）により新設会社に承継させたいと、新設会社の株式の全てを当社の共同創業者である中村真広氏に譲渡しました。つきまして、第2四半期連結会計期間以降は当セグメントにおける売上および利益の計上はありません。

当第2四半期連結累計期間の売上高は86,951千円、セグメント利益は8,296千円となり、第1四半期連結累計期間から変更はありません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は3,474,043千円となりました。

流動資産は3,218,071千円となり、その主な内訳は、現金及び預金1,425,961千円、売掛金及び契約資産23,543

千円、販売用不動産1,652,931千円です。

固定資産は255,972千円となり、その内訳は、有形固定資産120,292千円、投資その他の資産135,679千円です。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は1,788,492千円となりました。

流動負債は1,192,096千円となり、その主な内訳は、短期借入金445,688千円、1年内償還予定の社債110,000千円、1年内返済予定の長期借入金399,472千円です。

固定負債は596,396千円となり、その主な内訳は、社債104,000千円、長期借入金492,396千円です。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,685,551千円となりました。その主な内訳は、資本金54,804千円、資本剰余金1,605,499千円、利益剰余金△35,274千円です。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、1,379,953千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果支出した資金は891,632千円となりました。これは主に、棚卸資産の増加817,247千円などの資金減少要因が、税金等調整前四半期純利益125,896千円などの資金増加要因を上回ったことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は143,336千円となりました。これは主に、関係会社株式売却による収入97,000千円、投資有価証券売却による収入53,534千円などによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は391,173千円となりました。これは主に、短期借入金の増加372,688千円、長期借入れによる収入102,500千円などによります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月14日付「特別利益(投資有価証券売却益)の計上及び連結業績予想の修正に関するお知らせ」において公表した2024年7月期通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間 (2024年1月31日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,425,961
売掛金及び契約資産	23,543
販売用不動産	1,652,931
その他	115,635
流動資産合計	3,218,071
固定資産	
有形固定資産	120,292
投資その他の資産	135,679
固定資産合計	255,972
資産合計	3,474,043
負債の部	
流動負債	
短期借入金	445,688
1年内償還予定の社債	110,000
1年内返済予定の長期借入金	399,472
未払法人税等	2,575
賞与引当金	46,644
役員賞与引当金	1,437
その他	186,279
流動負債合計	1,192,096
固定負債	
社債	104,000
長期借入金	492,396
固定負債合計	596,396
負債合計	1,788,492
純資産の部	
株主資本	
資本金	54,804
資本剰余金	1,605,499
利益剰余金	△35,274
自己株式	△62,516
株主資本合計	1,562,512
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	△2,393
その他の包括利益累計額合計	△2,393
新株予約権	125,432
純資産合計	1,685,551
負債純資産合計	3,474,043

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自2023年8月1日 至2024年1月31日)
売上高	2,045,182
売上原価	761,704
売上総利益	1,283,477
販売費及び一般管理費	1,246,433
営業利益	37,044
営業外収益	
受取利息	19
受取手数料	921
その他	186
営業外収益合計	1,127
営業外費用	
支払利息	7,842
社債利息	318
株式交付費	700
支払手数料	4,970
その他	903
営業外費用合計	14,735
経常利益	23,436
特別利益	
関係会社株式売却益	49,226
投資有価証券売却益	50,779
新株予約権戻入益	1,921
固定資産売却益	532
特別利益合計	102,460
税金等調整前四半期純利益	125,896
法人税、住民税及び事業税	2,577
法人税等合計	2,577
四半期純利益	123,318
親会社株主に帰属する四半期純利益	123,318

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年8月1日 至 2024年1月31日)
四半期純利益	123,318
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	250
その他の包括利益合計	250
四半期包括利益	123,569
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	123,569

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)	
当第2四半期連結累計期間 (自 2023年8月1日 至 2024年1月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	125,896
減価償却費	13,272
株式報酬費用	11,172
賞与引当金の増減額 (△は減少)	46,644
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,437
受取利息及び受取配当金	△19
支払利息	7,842
社債利息	318
支払手数料	4,970
株式交付費	700
関係会社株式売却益	△49,226
投資有価証券売却益	△50,779
固定資産売却益	△532
新株予約権戻入益	△1,921
売上債権の増減額 (△は増加)	33,963
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△817,247
未払金の増減額 (△は減少)	△56,680
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△67,501
契約負債の増減額 (△は減少)	23,966
その他	△103,791
小計	△877,514
利息及び配当金の受取額	19
利息の支払額	△9,204
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△4,932
営業活動によるキャッシュ・フロー	△891,632
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△6,160
有形固定資産の売却による収入	532
投資有価証券の売却による収入	53,534
関係会社株式の売却による収入	97,000
資産除去債務の履行による支出	△3,070
敷金及び保証金の差入による支出	△4,000
敷金及び保証金の回収による収入	5,499
投資活動によるキャッシュ・フロー	143,336

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間 (自 2023年8月1日 至 2024年1月31日)	
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	372,688
長期借入れによる収入	102,500
長期借入金の返済による支出	△54,317
社債の償還による支出	△57,250
ストックオプションの行使による収入	37,465
新株予約権の発行による収入	725
支払手数料の支払額	△4,970
配当金の支払額	△4,967
その他	△700
財務活動によるキャッシュ・フロー	391,173
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△357,122
現金及び現金同等物の期首残高	1,737,075
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,379,953

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

当社グループは、第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しております。四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項は次のとおりであります。

1. 連結の範囲に関する事項

連結子会社の数 1社

連結子会社の名称 株式会社ツクルバボックス

2. 持分法の適用に関する事項

該当事項はありません。

3. 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社の四半期決算日は、四半期連結決算日と一致しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自 2023年8月1日 至 2024年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	cowcamo (カウカモ) 事業	不動産企画デザイン 事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	1,957,393	82,478	2,039,872	—	2,039,872
その他の収益	837	4,473	5,310	—	5,310
外部顧客への売上高	1,958,230	86,951	2,045,182	—	2,045,182
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,958,230	86,951	2,045,182	—	2,045,182
セグメント利益	424,274	8,296	432,571	△395,527	37,044

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他の収益は、「リース会計に関する会計基準」の範囲に含まれる賃貸料収入等であります。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当社は、当第2四半期連結会計期間において、「不動産企画デザイン事業」を会社分割により事業譲渡いたしました。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、「不動産企画デザイン事業」のセグメント資産が97,665千円減

少しております。また、「不動産企画デザイン事業」の資産のうち、事業譲渡の対象とならなかった一部の資産を「cowcamo（カウカモ）事業」に変更しております。